第54回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会要項

主　　催　中国高等学校体育連盟　　鳥取県卓球連盟　　鳥取県高等学校体育連盟
後　　援　鳥取県教育委員会　　公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
主　　管　鳥取県高等学校体育連盟卓球専門部

1　期　　日　令和８年１２月１９日（土）～２１日（月）
2　会　　場　ヤマタスポーツパーク　鳥取県民体育館
〒680-0944 鳥取県鳥取市布勢 146-1　TEL 0857-31-6911
3　種　　目　(1)男子学校対抗　(2)女子学校対抗
4　日　　程

第１日（１２月１９日）　11:00～受付・練習　12:00～監督会議　13:00～オーダー提出（男子）
13:20～オーダー提出（女子）13:45～開会式
14:00～学校対抗予選リーグ２試合
第２日（１２月２０日）　9:00～学校対抗予選リーグ１試合・決勝リーグ４試合
第３日（１２月２１日）　9:00～決勝リーグ３試合　競技終了後閉会式

5　競技規定

(1)　現行の日本卓球ルールによる。
(2)　背中に日本卓球協会指定のゼッケンをつけること。競技用ユニフォームは日本卓球協会公認マークが付いたものとし、色・柄の異なったものを２着以上持参すること。
(3)　監督は学校長が認めた指導者であること。（外部指導者は損害賠償保険に加入の事）
(4)　タイムアウト制を適用する。
(5)　部旗の掲示は200×150cm以内のものを１枚認める。
(6)　接着剤の使用は指定された場所のみで認める。

6　競技方法

(1)　全試合、シングルスは、11ポイント５ゲームスマッチ、ダブルスは11ポイント３ゲームスマッチとする。
(2)　選手登録人数は４名以上８名以内とする。補欠は認めない。外国籍選手は２名以内とする。この他に審判員２名を引率すること。
(3)　試合順は次の通りとする。

順　序	1	2	3	4	5
対　戦	D	S	S	S	S

１番のＤ（ダブルス）に出場した選手は、２番のＳ（シングルス）に出場することはできない。なお、Ｓ（シングルス）はすべて異なる選手とする。
(4)　勝敗は４シングルス１ダブルスにより３点先取で行う。外国籍選手は１回のみ出場できる。
(5)　３チームずつ８組に分けての１次リーグ。各リーグ１位８校による決勝リーグを行い、中国ブロック代表を決定する。（今年度の中国ブロック代表枠は男女とも５校）＊野田学園高校は推薦出場
(6)　試合は３コートを使用して行うことがある。

7　使 用 球　バタフライ、VICTAS、ニッタク公認球（４０㎜ホワイトプラスチックボール）

8　参加資格

(1)　選手は学校教育法第１条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2)　選手は各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒で、当該競技要項により中国ブロック予選会の参加資格を得たものに限る。
(3)　学校対抗は、最高学年を除いてチーム編成しなければならない。すなわち、平成１９年４月２日以降に生まれた２年生以下の者とする。ただし、学校対抗においては、２回までとし、同一学年での出場は１回とする。
(4)　チームの編成は全日制課程と定時制課程と通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5)　統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(6)　転校後６か月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし一家転住等、やむを得ない理由で各ブロック高体連会長・各県専門部が認めた者を除く。
(7)　外国籍選手の出場については、全国高体連卓球専門部の規定による。
(8)　本大会に出場する選手は予め健康診断を受け、在学校の学校長の承認を必要とする。
(9)　選手は当該年度に(財)日本卓球協会に登録された者であること。

⑽　学校対抗の選手変更については原則として認めないが、以下の条件で認めることがある。
病気等によりやむを得ない場合は、用紙に事由を記入し(学校長印、顧問印必要)、診断書を添え、各県専門委員長を通じて本大会監督会議までに審判長へ届け出て承認を得るものとする。

⑾　参加資格の特例

ア　上記(１)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、各県高等学校体育連盟が認めた生徒について別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ　上記（３）について、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、２回限りとする。

⑿　大会参加に際しては、当該校の教職員が引率するとともに、万一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

【大会参加資格の別途に定める規定】

１　学校教育法第７２条、第１１５条、第１２４条及び１３４条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

２　以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

①　全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

②　参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

③　各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、本予選会への出場条件が満たされていること。

④　各学校にあっては部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導の下に適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

①　全国高等学校選抜大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

②　大会参加に際しては、当該校の教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

③　大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

９　参 加 数　各県２０（４×５）＋開催県２＋前年度優勝の県＋準優勝校の県各１＝２４

ただし、前年度全国選抜大会に無条件出場した学校は、前年度今大会優勝したものとみなす。

※前年度全国選抜で優勝の野田学園（山口）は、本大会へ推薦出場。男子山口に１枠。

男子優勝　関西（岡山）

女子優勝　山陽学園（岡山）準優勝　進徳女子（広島）

以上のことより令和８年度中国地区予選会参加数は以下のとおり

男子…山口⑤、岡山⑤、広島④、島根④、鳥取⑥

女子…山口④、岡山⑤、広島⑤、島根④、鳥取⑥

１０　参 加 料　１チームにつき１６，０００円

１１　表　　彰　学校対抗　第８位までを表彰する。

１２　参加申込

(1)　各校監督は、別紙参加申し込み用紙に男女別を明記し、参加料を添えて令和８年１１月６日（金）までに、各県委員長宛に申し込むこと。

(2)　各県委員長は、とりまとめたデータを令和８年１１月１３日（金）までに鳥取県委員長にメールで送信すること。各校の参加料および校長印を押した申込み用紙は５県委員長会議に持参のこと。

１３　宿泊・弁当

(1)　希望者は別紙宿泊・弁当申込要項により申し込む。《申し込み先》「株式会社ＪＴＢ鳥取支店」

１４　連絡事項

(1)　出場選手、役員は必ず引率責任者が引率し、引率責任者は選手の行動に全責任を負うものとする。

(2)　参加選手、役員は健康保険証を持参する。

(3)　練習会場、練習時間について

１２月１９日(土)　11：00～13：30（メイン・サブ）　14：00～17:00（サブ）

１２月２０日(日)　 8：00～ 8：50（メイン）　8:00～17:00（サブ）

１２月２１日(月)　 8：00～ 8：50（メイン）　8:00～12:00（サブ）

ただし、サブ会場についてはエキシビジョンマッチで使用することがある。

(4)　予選リーグ組み合わせ抽選会を、11月27日（金）各県専門委員長が抽選にて実施する。